

2017年 4月 5日

千葉県知事 森田健作様

金ヶ作県営住宅(松戸市)二期工事の早期着工を求め る緊急要望書

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会

日本共産党松戸市議会議員団 高橋たえ子 うつの史行

高木健 山口正子 平田きよみ

日本共産党千葉県議会議員 みわ由美

日頃から県民生活の向上と住環境整備にご尽力いただき、有難うございます。

現在、金ヶ作県営住宅は、第一期136戸が完成し、すでに6年が経過していますが、第二期56戸の建設がいつこうに始まりません。しかも、住民には説明会などで第二期計画が公表されていますから、何の説明もなくいつまで空き地にしておくのかと、県住宅行政への不信は広がるばかりです。

実際に、松戸市内の県営住宅や市営住宅の応募倍率は、平均でも20倍に近く高さとなっており、昨年度では、松戸駅近くの塚の越県営は82倍、常盤平駅近くの金ヶ作県営は68倍の高さでした。松戸市内における公営住宅の不足は明らかであり、理由も示さず「約束」を反故にしている県の姿勢は大問題です。

貧困と格差拡大で松戸市内でも低所得者層が増えています。こういう時だからこそ、通勤通院に便利で、駅にも比較的近い金ヶ作県営住宅のこれ以上の建設先延ばしは、認められません。すでに、松戸市議会では、党松戸市議団でも再三にわたり、県営住宅の増設について質問し、金ヶ作県営住宅については松戸市からも、県に早期整備の要望があがっています。松戸市からの要望に対し、県はどう回答しているのでしょうか。

県においては、今年度「計画」の見直しなどが予定されているとのことですが、平成13年に県営住宅用地として国の交付金も受けて取得した土地で、第二期工事を実施しないなど、全く筋が通りません。千葉県の公営住宅戸数は、人口比で全国第46位の少なさであり、特に西地域で人口が多い松戸市内での増設は、喫緊の課題です。

以上のことから、金ヶ作県営住宅の第二期工事については、新年度直ちに着工し、早期完成を強く求めます。どうぞ、よろしくお願い致します。

以上